

卵巣癌・卵管癌・腹膜癌 III 期症例における相同組換え修復欠損(HRD) 検査を受けられた患者さんの検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の当院の問い合わせ窓口までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

卵巣癌・卵管癌・腹膜癌 III 期症例における相同組換え修復欠損と臨床背景との関連の調査

[当院の研究責任者]

臨床検査科 産婦人科 元島成信

[研究の背景]

卵巣癌・卵管癌・腹膜癌のうち、とくに高異型度漿液性腺癌では、相同組換え修復欠損 (homologous recombination deficiency: HRD) が、プラチナ製剤や PARP 阻害薬に対する感受性と関連する重要な指標と考えられています。

一方で、HRD 陽性症例がどのような臨床背景や治療特性を有するかについては、十分には明らかになっていません。

HRD ステータスと年齢、腫瘍進展、手術所見、腫瘍マーカーなどとの関連を明らかにすることは、今後の治療戦略の個別化に役立つ可能性があります。

[研究の目的]

当院における III 期卵巣癌・卵管癌・腹膜癌症例を対象に、HRD ステータス別の臨床背景および治療特性を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020 年 7 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日までの間に、小倉医療センターで初回治療を受けた上皮性卵巣癌・卵管癌・原発性腹膜癌 III 期症例のうち、HRD 検査が施行された

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

患者さん。

●研究期間：西暦 2023 年 11 月 15 日から西暦 2027 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：MRI 画像、病理標本

カルテ情報：最終診断名、検査時年齢、HRD 検査結果

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術集会や学術誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

臨床検査科 産婦人科 元島成信

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881